

博愛会で楽しく福祉学ぶ

夏休み企業探検ツアー始まる

御坊日高地区雇用対策協議会地元研究会の夏休み企画「親子で企業探検ツアー」が始まり、3日には御坊市名田町の社会福祉法人博愛会で事業所の見学とリハビリ体験などが行われた。日高地方の小学4～6年生と保護者の7組14人が参加し、電動車椅子の試乗やリハビリを体験。高齢社会を支える福祉の現場のさまざまな機器、介護の技術などを楽しく学んだ。



親子で高齢者の体の不自由さ、介助を体験(博愛会で)

企業探検ツアーは、地元にも多くの優れた技術や先進的な取り組みを行っている企業が多くあることを知ってもらおうと、毎年、夏休みに小学生と保護者を対象に実施。今年も博愛会のほか、自動車等の保護フィルムを製造している㈱スミロン和歌山工場(日高川町)、養鶏機器等製造のヨシダエルシス(株)(御坊市)、御坊南海バス(株)24日に黎明董会が行われる。

明董会(同)の5つの事業所で行われている。

3日の博愛会では、

電動車椅子の試乗や高齢者の歩行介助、リハビリ体験、嚥下食の試食などが行われた。高齢者の疑似体験では、お父さんやお母さんが視野が狭くなるゴーグルや手足に重りをつけた、子どもたちが手を携えて歩行や階段の昇り降りを経験。リハビリ体験では、高齢者をベッドの上から車椅子に移動させる器具を実際に動かしたり、布を使って寝たきりの人の体を楽に移動させる介護のテクニックを見せられた。

探検ツアーは今後、

12日に御坊南海バス、24日に黎明董会が行われる。